



医政局長賞  
優秀賞

「医療マンガ大賞」が  
第二回「上手な医療のかかり方アワード」で  
**厚生労働省医政局長賞を受賞！**



横浜市では、市民の皆様に医療を他人ごとではなく「自分ごと」と捉えていただけるよう、民間企業等と連携しながら医療広報を実施する「医療の視点」プロジェクトに取り組んでいます。

このプロジェクトのひとつである「医療マンガ大賞」が、このたび、厚生労働省主催「上手な医療のかかり方アワード」において、厚生労働省医政局長賞 自治体部門優秀賞を受賞しました。今後も引き続き医療のコミュニケーションギャップの解消を通じた広報に取り組みます。

従事者視点



患者視点



上手な医療のかかり方大使（下部参照）

双方の視点からのマンガを読んで、自然と互いの考えや思いに気づき、コミュニケーションギャップの解消につながる点が評価されました。

概要

第二回「上手な医療のかかり方アワード」とは・・・

**主催** 厚生労働省

**目的** 本表彰制度は、保険者・医療機関・企業・各種団体・自治体等において、「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクトで掲げる5つの方策を中心に、医療のかかり方の改善に資する優れた取組の奨励・普及を図ることを目的としたものです。（ホームページより抜粋）

**選考** 「最優秀賞」（厚生労働大臣賞）1団体、「優秀賞」（医政局長賞：6部門※）12団体を選定。※保険者部門・企業部門・自治体部門・医療関係者部門・民間団体部門・チャラシ部門

**審査委員長** 秋山正子氏（マギーズ東京センター長）※他審査員は主催者にお問い合わせをお願いします。

**上手な医療のかかり方大使** デーモン閣下

**URL** [https://kakarikata.mhlw.go.jp/awards\\_ceremony2021/](https://kakarikata.mhlw.go.jp/awards_ceremony2021/)

【裏面あり】

## ■ 参考（医療マンガ大賞）

横浜市医療局が、同じ出来事でも、患者と医療従事者では受け取り方や感じ方が異なることに着目し、各々の視点からの捉え方をマンガとして描くことで、視点の違いに互いに気づき、共感を促進することを目指して2019年度より始めた取り組みです。

30 作品を超える受賞作を Web サイトにてご覧いただけます。

特設 Web サイトはこちら

URL : <https://iryomanga.city.yokohama.lg.jp/>



## ■ 参考（医療の視点）

「医療への視点が少し変わること、異なる気づきを得られ、行動につながる」をコンセプトに2018年10月から取組をスタートしています。民間企業等との連携や、市民の皆様のご関心事にフォーカスすることで、より印象に残りやすく、伝わりやすい広報に様々な切り口で取り組んでいます。



URL:<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/iryonoshiten/iryonoshiten.html>

お問合せ先

医療局医療政策課情報企画担当課長 小川 亨 Tel 045-671-4813